

第112回「NO WAR! 八王子アクション」アピール決議（案）

10月の総選挙で自民・公明の与党は過半数割れ、改憲勢力は3分の2割れとなり、暮らし、平和、人権、民主主義のどの問題でも、市民の願いを実現させる大きな可能性を開きました。市民と立憲主義に立つ野党が手を取り合って、運動を強め、自民党政治を終わらせましょう。

- ◇ 自民党が裏金を理由に非公認とした候補に対して、公認候補と同額の2000万円を政党助成金から支給していたことは事件への無反省を示すものです。
私たちは、自民党の組織的政治犯罪である裏金事件の真相を究明し、企業・団体献金の禁止、政策活動費の廃止など実効性のある政治資金規正法の改正を求めます。
- ◇ 総選挙後も自民党は、憲法9条に自衛隊を書き込み、緊急事態条項を入れる明文改憲を諦めていません。
私たちは、憲法9条を守りぬき、アジア地域における平和の対話外交を進めることを求めます。
- ◇ 私たちは、「敵基地攻撃能力」の保有などの軍事費倍増とそのための大增税、辺野古新基地建設・南西諸島の軍事施設化・武器輸出・米軍と自衛隊の指揮権一体化の中止、在日米軍オスプレイの全機撤去と自衛隊への配備撤回を求めます。
- ◇ 私たちは、ガザ地区の即時停戦、イスラエルへのアメリカの軍事支援中止、日本政府による即時停戦のための外交努力と人道支援の強化を求めます。
- ◇ 日本被団協ノーベル平和賞受賞の意義を重く受け止め、私たちは、日本政府が、アメリカに依存する「拡大抑止」（核の傘）から抜け出し、核兵器禁止条約を批准することを強く求めます。
- ◇ 私たちは、志賀原発、柏崎刈羽原発はもちろん全ての原発を廃炉にすることを求めます。
- ◇ 私たちは、インボイスの廃止と緊急の消費税減税を実施し、大企業と富裕層への優遇税制の是正で市民の命と暮らしを守る財源の確保を求めます。
- ◇ 58年前の袴田事件の再審判決は、公権力による自白の強要や証拠の捏造を認定し、袴田さんを無罪としました。再審による冤罪救済の扉が重いのは、刑事訴訟法に再審手続きの規定がほとんどないからです。私たちは、国家による人権侵害である冤罪をなくすために、再審での証拠全面開示の義務付け、再審開始を妨げる検察の抗告禁止など、再審法のすみやかな改正を求めます。

2024年11月17日

第112回「NO WAR! 八王子アクション」参加者一同

行動予定

●新たな戦前にはさせない！改憲・軍拡を止めよう！

theEND 自民党政治 11・19 国会議員会館前行動

11月19日(火)18時30分～ 衆議院第2議員会館前を中心に(国会図書会館方面も利用下さい)

共催 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲 NO！全国市民アクション

●第113回 NO WAR！八王子アクション

12月15日(日) JR八王子駅 北口

13時30分～ オープニングコンサート

14時～15時 集会

15時30分～ 船森公園から パレード

主催 戦争をさせない八王子市民集会実行委員会

●公式 NO WAR！八王子アクション ライン

最新情報や国会議員からのメッセージを配信中。

右のQRコードか、下のURLで、
友だち追加してご覧下さい。

<https://lin.ee/UrYCgsv>

